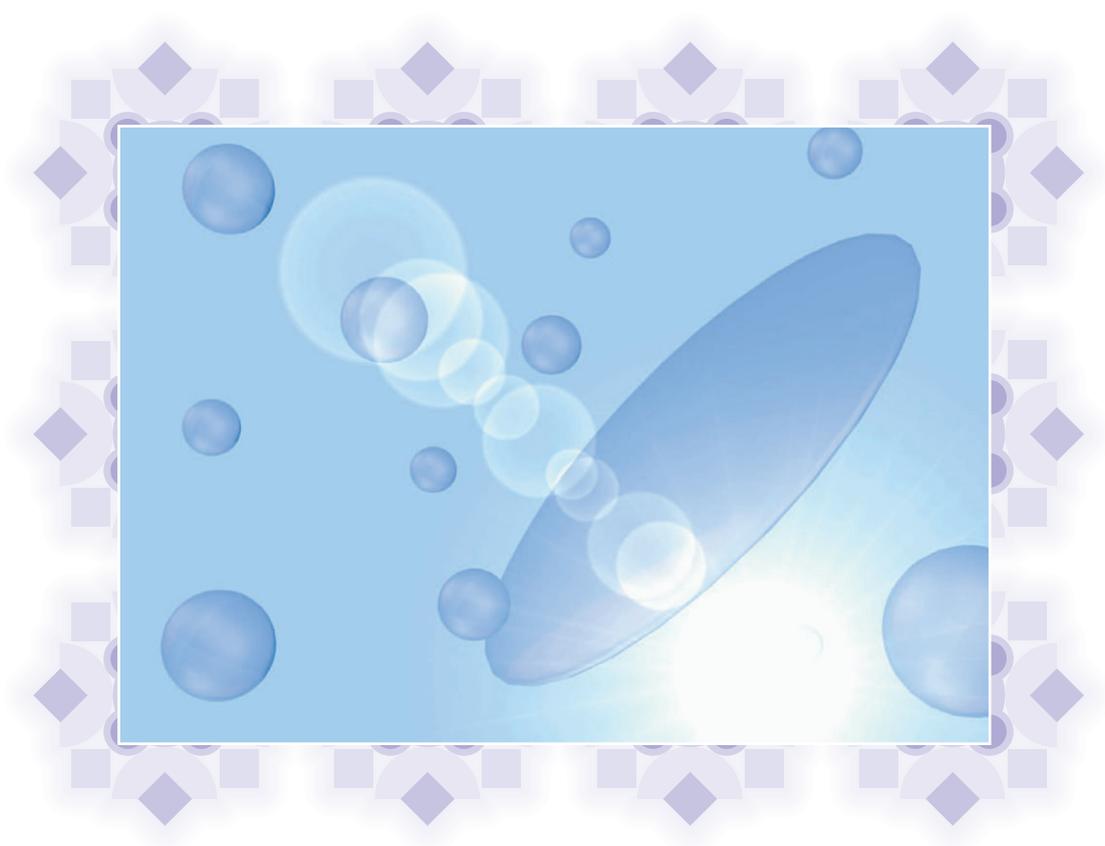


広島県のがん登録

(平成16年集計)



平成20年3月

広島県
社団法人 広島県医師会
財団法人 放射線影響研究所

ご あ い さ つ

がんは、全国と同様に本県でも死亡原因の第一位であり、今後、高齢化が進展していく中で、がん罹患者はさらに増加していくものと予想されています。

がん対策を効果的に推進するためには、がん患者の罹患の状況等を正確に把握することが不可欠であり、本県では平成14年10月から「広島県地域がん登録事業」を実施し、がんの罹患状況の把握に努めて参りました。

また、本年度に策定した「広島県がん対策推進計画」においても、重点的に取り組むべき課題の一つとして「がん登録の推進」を掲げ、がん登録に関する普及啓発に努めるとともに、精度の高いがん登録システムの構築を推進することとしています。

この「広島県のがん登録」は、社団法人広島県医師会と財団法人放射線影響研究所のご協力により、平成16年における「広島県腫瘍登録事業」と「広島県地域がん登録事業」の登録データを、解析、評価し、報告書としてとりまとめたものです。

本書が関係各方面の皆様に幅広く活用され、がん対策の推進に役立てていただければ幸いです。

終わりに、本事業にご協力をいただいております登録協力医療機関を始め、社団法人広島県医師会と財団法人放射線影響研究所に対し、深く感謝を申し上げますとともに、今後とも一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成20年 3 月

広島県福祉保健部長 迫井 正深

ご あ い さ つ

本会では2002年（平成14年）から、広島県より委託をうけて「地域がん登録事業」を実施しています。昨年、初回の「広島県のがん登録」（広島県地域がん登録事業実施報告書）報告書を発刊しました。続いて、第2号を発行することができ、関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

がん対策につきましては、2007年4月に「がん対策基本法」が施行され、広島県でも県民の視点に立ったがん対策を目指し「広島県がん対策推進計画」が策定され、各種施策が実施されています。

この度、本事業計画で、臨床登録であります「広島県地域がん登録」を統合補完する事業として、広島県医師会が1973年（昭和48年）から全国に先がけて事業を行ってきた病理登録であります「広島県腫瘍登録」が明記されました。

これは、長年にわたり培われてきた「広島県腫瘍登録」のデータを有効活用して、「広島県地域がん登録事業」の精度向上を目指すことを意味しており、全国でも先進的な「臨床登録に正確な病理診断によって裏付けられたがん登録」を示せることを、大変嬉しく思います。

今後、広島県医師会では「がん登録事業」のより一層の推進とともに、啓発活動を行い、県民の健康増進に努力していく所存であります。関係者皆様のご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成20年3月

広島県医師会長 碓井 静照

「広島県のがん登録（平成16年集計）」に寄せて

わが国では、これまで都道府県で独自に実施されてきた地域がん登録について、平成16年度から厚生労働科学研究費補助金第3次対がん総合戦略研究事業の研究班を中心に標準化が進められています。この標準化に必要なデータベースシステムの開発に、当研究所も参画しています。本報告書に掲載されている罹患数・罹患率の数値は、広島県地域がん登録の資料と、昭和48（1973）年に開始され平成17（2005）年に広島県地域がん登録事業と一体化した広島県腫瘍登録事業の資料をもとに、この標準データベースシステムにおいて算出されています。

ご承知の通り、広島県内では医療機関での出張採録を中心とする広島市地域がん登録事業が、前身の広島県医師会腫瘍統計事業が開始された昭和32（1957）年から通算すると50年以上にわたって実施されています。広島市の地域がん登録のデータは、世界保健機関（WHO）と国際がん登録学会（IACR）が5年に1回発行している「5大陸のがん罹患」にも掲載され高い評価を得ておりますが、この精度の高さも広島県腫瘍登録事業の資料で補完されることで初めて達成されるものです。

平成19年度から、当研究所は広島県医師会とともに、広島県から直接事業の委託を受けることになりました。また、広島県地域がん登録と広島市地域がん登録の資料を相互に利用し合うことで、広島県地域がん登録の精度を向上させることも検討されています。いずれにしましても、広島県医師会をはじめとする県内医療機関のご協力は広島県における地域がん登録の精度向上のために欠かせません。広島県地域がん登録を通して、当研究所も広島県におけるがん対策の推進に微力ながら貢献できればと考えています。

今後とも皆様のご協力、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成20年3月

放射線影響研究所理事長 大久保 利晃

目 次

I	広島県のがん登録事業の目指すところ	1
II	広島県地域がん登録の概要	3
	1 目的	3
	2 方法	3
	(1) 登録作業	3
	(2) 集約作業	3
	(3) 広島県腫瘍登録事業について	3
	(4) 集計作業	4
	(5) 用語の説明	4
	(6) 登録精度	5
III	平成 16 年の結果	7
	1 がん死亡数	7
	(1) 部位別	7
	(2) 全国との比較	8
	2 がん罹患数	9
	(1) 部位別	9
	(2) 年齢階級別	10
	(3) 発見経緯	10
	(4) 臨床進行度	11
	(5) 受療割合	12
IV	おわりに	13
V	付表	
	表 1-A 罹患数、罹患割合 (%)、粗罹患率及び年齢調整罹患率 (人口 10 万対) ; 主要部位別、性別	15
	表 1-B 罹患数、罹患割合 (%)、粗罹患率及び年齢調整罹患率 (人口 10 万対) ; 上皮内がん、性別	16
	表 2 年齢階級別罹患率 (人口 10 万対) ; 主要部位、性別	17
	表 3 発見経緯 (%) ; 特定部位別	18
	表 4 臨床進行度分布 (%) ; 主要部位別	18
	表 5 受療割合 (%) ; 主要部位別	19
	表 6 切除内容 (%) ; 主要部位別	19
	表 7 罹患及び死亡数、粗率、年齢調整率 (人口 10 万対) 及び罹患数と死亡数の比 ; 主要部位別	20
	付表 1 がん罹患数及び罹患率 ; 詳細部位別、性別	21
	付表 2 年齢階級別罹患数及び率 ; 主要部位別、性別 A. 罹患数	22
	年齢階級別罹患数及び率 ; 主要部位別、性別 B. 罹患率	23
	付表 3 地域別罹患数 ; 主要部位別、性別	24
	付表 4 市区町村別罹患数 ; 主要部位別、性別	25
	付表 5 届出精度 ; 部位別、性別	26
	付表 6 診断根拠割合 (%) ; 部位別	27

付表7	がん死亡数及び死亡率；詳細部位別、性別（広島県、2004年死亡）	28
付表8	年齢階級別死亡数；主要部位別、性別（広島県、2004年死亡） A. 死亡数	29
	年齢階級別死亡率；主要部位別、性別（広島県、2004年死亡） B. 死亡率	30

VI 参考資料

1	広島県の人口	31
2	市町の地区割（二次保健医療圏）	32
3	届出票	33
4	広島県地域がん登録届出票項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表	35
5	広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録票項目の対応表	40
6	広島県地域がん登録・広島県腫瘍登録届出施設	42
7	広島県がん対策推進協議会がん登録運営部会委員名簿	44
8	広島県医師会地域がん登録運営委員会委員名簿	45